



いっしょにアンベ！

たかもり み ゆ き

高森美由紀作

ミロコマチコ絵

かん

フレーベル館

ある日^ひ学校^{がっこう}から帰^{かえ}ると、母^{かあ}ちゃんは言^いった。「子^こどもをひとり、預^{あず}かることにしたの」大震^{だいしん}災^{さい}で両^{りょう}親^{しん}が見^みつからない、オレと同じ五^ご年^{ねん}生^{せい}の有^{あり}田^た圭^{けい}太^た。有^{あり}田^たは絶^{ぜつ}対^{たい}にひとりではふろに入^{はい}らない。いつでもデジカメをはなさず、なんでも撮^とりまくる。犬^{いぬ}を見^みれば、岩^{いわ}手^てで飼^かっていた犬^{いぬ}のチョコだと言^いって追^おいかける。本^{ほん}当^{とう}に世^せ話^わのやけるやつだ。でも、そんな行^{こう}動^{どう}の一つ一つにも意^い味^みがあつたんだ。クラスでういているノボルと、震^{しん}災^{さい}で深^{ふか}い傷^{きず}をおった有^{あり}田^たが、手^てを取^{とり}り合^あい、成^{せい}長^{ちやう}していく様^{よう}子^すをえかく。

